

安全に関する改善事例

記入日：2005年10月28日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者：

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m3)
灰塚ダム	広島県	中国地方整備局	G	50	196.6	168
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
設計	コンクリートダム堤体工	墜落災害	人的要因	高所作業	有：無	
改善の概要： 上流跳ね出し部のワイヤー・ケーブル-コンクリートをプレキャストコンクリートに変更 取水設備のワイヤー、シーブを保護するための跳ね出しコンクリート構造物。 当初は、支保工を設置し堤体と同時施工する計画であったが、高所の複雑な構造物で危険を伴うため、 PC構造としてケーブルクレーンにて設置する構造に変更。					特許の有無	
					有：無	
メリット： 高所での作業量が少なくなり、墜落災害防止に寄与できる。 PC化により打設工程を短縮できる。			デメリット： 高価であり、金額的にはコンクリート構造物よりコストアップとなる。 クレーン使用時間の調整が必要である。			

改善前 (略図または写真)

跳ね出しブラケット設置 支保工設置 打設 養生 支保工解体の工程となる。

改善後 (略図または写真)

取水設備ワイヤーシーブ保護PC

